

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区 東篠崎保育園

テーマ「五感を育む」



見て、触って、味わって……。五感を通した様々な経験が、豊かな感性と「やってみよう！」という意欲を育んでいきます。お友だちと感動を分かち合う中で、思いやりや豊かな創造力を育み、さらに物事への興味関心を広げていくことを大切にしたいという事からテーマを決めました。

新聞紙でなにができるかな？



的を用意したらさっそく新聞紙を丸めて的めがけてポイっ！

新聞紙は固く丸めないとうまく投げられないことに気づき、小さい球や大きい球などいろいろ工夫して作り楽しんでいました。

テープに細長くやぶいた新聞紙をぶら下げその下をくぐると…

「新聞紙のジャングルだー！」何往復も歩いて楽しむ子どもたち。



- ・各コーナーで使った新聞紙を全部ホールに集めると水に見立てて、プールごっこが始まりました。新聞紙のふわふわした感触を友だちと楽しんでいました。
- ・最後は保育者が集めた新聞紙を寝ころんだ子ども達の上にかいたり団扇で仰いで風に乗って新聞紙が舞う様子を楽しみました。





風船遊びたのしいね!

風船の中に片栗粉を入れて口を閉じ、握って遊びました。握って楽しんでいく中で、「ぶにぶにしてる」「何か入っているのかな」と沢山の発見がありました。

圧縮袋に風船を入れて風船のベッドにしました。上に乗ったり寝そべったりと楽しんでいました。



まとめ

「あの子のやり方おもしろそう!」と真似して一緒に取り組んだり、自分の世界に入り込んで時間も忘れるほど夢中で取り組んでいました。大人が「こう遊ぶんだよ」と教えるのではなく、大切なのは子どもたちが自分から「触りたい」「やってみたい」とワクワクできるような環境を整えてあげることだと実践を通して学びにもなりました。

子どもたちは、ひとつの遊びからすてきな発見をする名人です。「おもしろい!」と自分で見つけ出すキラキラした瞬間の積み重ねが“豊かな心”と“自分を信じる力”につながっていくように今後も一緒に楽しんでいきたいと思います。